

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年3月28日

事業所名：児童デイサービス ほっこり

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	0	活動や勉強など、用途によって部屋を使い分けています。	
	2	職員の配置数は適切である	2	4	0	送迎時間が被る時は、工夫して対応しています。	お迎えの時間や、帰りの送迎など要望が重なる場合が多々あります。その都度要望を確認しながらご家族と相談して対応します。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	0	0		トイレなど一部段差が少し有りますので、児童がつまづかないよう張り紙や声掛けをするようにしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	0		PDCAサイクルについて理解を深めたくうえで、職員が業務を進められるようにします。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	2	0	今後もアンケート等を実施します。	アンケートや聞き取りを行い、改善点を確認します。これからも業務改善に繋がられるように取り組みます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	0	6	現在、外部評価を行っていません。	第三者による外部評価制度の導入について、どこに依頼すれば適当なのか検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	0	定期的に研修を行っています。	パート職員も参加できるように、時間や場所を考慮して研修機会を確保します。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	相談支援事業所との連携も併せて行っています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	3	0		現在しようしているアセスメントツールを、管理者だけでなくパートさんでも使いこなせる事が出来る事が大切だと思います。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	0	立案して、その都度情報交換をしています。	現場で案を実行した時は、パート職員の意見も含めて結果を確認し、細かい修正案を出し合っていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0	準備を行い、利用児が楽しんで取り組めるよう気を付けています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1	0	休日限定プログラムを随時計画しています。	休日は、平日と違い朝からの利用も視野に入れ送迎や活動をその都度対応出来るよう考えます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	2	0	状況や様子を確認しながら、個別・集団計画を作成しています。	常時取りこぼしが起きていないか、確認しながら対応修正出来る仕組みが必要です。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	0	始業開始時にミーティングをしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	0	学校や保護者などからも、情報交換を行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	0	毎日、個別記録を行っています。	正しい記録の取り方を職員間で共有し、よりよい支援へ繋がられるよう模索します。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1	0	定期的な評価から、改善点を計画に反映しています。	

19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	5	1	0	ガイドラインの基本活動を再確認し、支援の見直しを適宜行えるよう努力します。
----	---------------------------------	---	---	---	---------------------------------------

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0	管理者が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	1	0	学校お迎え時毎、先生とコミュニケーションを取ります。	送迎時間の急な変更時に、伝達ミスが出やすく課題となっています。急な変更でも、情報共有をしっかりと行いミスしないよう努力します。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	3	0	現在、医療的ケアが必要な児童はいません。	現在は医療的ケアが必要な児童はいませんが、今後そういう方のための必要な連絡体制が整えられるよう改善します。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	1	0	情報共有を行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	2	0		ご家族や、次のサービス提供事業所から問い合わせが有る時に適宜対応させて頂いています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4	0		支援センターや各専門機関との連携を深め、助言や研修受講の機会が得られるよう努力します。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3	1		他の障害児通所支援との交流は有りますが、障がいのない子供たちとの交流や地域の児童館、学童との交流機会を作ることは、私達の課題となっています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	4			参加した職員を中心に、他の職員とも情報を共有出来るようにする事が課題です。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1	0	送迎時、保護者へ申し送りを行うようにしています。	今後は、SNSなどのITの活用も視野に入れて検討します。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	5	1		保護者向けのペアレントトレーニングは現在私達事業所では実施しておりません。今後、導入検討が必要かと思えます。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	0	見学や契約時、その他質問があった際には適切に対応しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	2	0		相談支援と連携して対応するようにしていますが、上手く連携出来ない事も有るので調整できるよう努力します。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2	4		保護者会が現在は有りません。保護者さん同士の連携も考えます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0		苦情や要望が有る時は、管理者に報告します。その後、対応方法などをみんなで検討するようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	2	0	活動の様子を写真なども含めて送るようにしています。	今後は、SNSなどの導入も検討します。
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0	個人ファイルは、鍵付きの部屋で保管しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1	0		合理的配慮への理解も含めて今後勉強していきたいと考えています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3	1		コロナ感染が落ち着いて来たようですので、地域交流も計画したいと思います。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	3	0	緊急時や感染症対応は、職員間で共有しています。	防犯マニュアルを新たに策定し、職員・保護者に周知・情報共有を行います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	4	0	非難訓練は、年2回実施。	非難救出まで対応出来るよう訓練計画が必要です。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	2	0		虐待への意識を高める、また防止するために研修や勉強会で終わらせないようにする事が課題です。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	4	0		現在、身体拘束を行うまで至る児童はいませんが、今後の必要性を見据え、事業所内で話し合いをします。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	4	0		現在、アレルギーへの対応児童はいませんが、今後の為に体制を整えます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	3	0		会議では行っていますが、毎日のミーティングでも取り入れるようにします。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表日 : 令和6年3月28日

事業所名 : 児童デイサービス ほっこり

保護者等数(児童数)15名(16名) 回収数 12 割合 80%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	0	0	広々としていて、部屋数も多いと思う。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12	0	0		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	0	0		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	12	0	0		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	12	0	0		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	7	0		コロナも落ち着いて来たので、計画したいと思います。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	12	0	0		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	2	0		育児への課題を確認するようにします。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	4	0		コロナも落ち着いて来たので、計画したいと思います。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	0	0		苦情が発生しましたら、迅速に対応するように心掛けます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	0	0		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	0	0		
	14 個人情報に十分注意しているか	12	0	0		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	3	0		パート職員も含めて、マニュアルを共有します。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	4	0		定期的に訓練します。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	11	1	0		児童が毎日楽しみに出来る事業所を目指します。
	18 事業所の支援に満足しているか	11	1	0	細かいところまで見てくれていると思えます。	

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。